

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表を公表します【2023年度】

放課後等デイサービスこえた

事業所が提供するサービスの質について、スタッフ自ら評価・点検をしています。
 指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供をめざします。
 なお、評価基準は、厚生労働省が定める『放課後等デイサービスガイドライン』をもとに作成しています。



チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	取り組み状況・改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が訓練指導室等スペースとの関係で適切であるか	5			定められたスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	1		令和5年4月より職員の適正配置ができています。また12月からは保育士1名が配置され、加配の配置になり、安全にサービス提供を行うことができています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3		玄関にスロープは設置していますが、車椅子がスムーズに通るには入り口や廊下が狭いと感じています。手すりや洗面所（室内）の取り付け、床暖など快適に過ごせるよう検討していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2		職員が全員参加のミーティングを実施しています。振り返りをし、個別支援計画に基づいた目標設定を行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者への調査アンケートを行い、業務改善につなげていきます。自己評価の結果はホームページへ公開し、お知らせしています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	1	センター事業団の事業所同士で相互監査を行い、業務改善につなげています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			県や市町村主催の研修に出席し、伝達研修をしています。専門性を高めるために、職種ごと異なる研修に参加することもあります。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			計画期間ごとにアセスメントをとり、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		年度開始時に年間プログラムを職員全体で策定しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		季節に合わせて室内室外での活動を行いプログラムが固定しないよう工夫しています。また月間プログラムを作成し、子どもたちが楽しく通所できるような工夫もしています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	4		個別支援計画に基づき課題を決め本人の状態に合わせた活動が出来るよう工夫しています。様々な障がい特性を理解し、無理のない範囲での活動を行っています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			サービス開始前に打ち合わせを行っています。学校やご家庭からの情報も大事にし、子どもたちが安心して通えるよう情報共有を行っています。サービス中に気になることがあればすぐに情報を共有し適切なサービスが出来るよう留意しています。
	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			日々の気になることを中心にサービス提供記録に残し対応等の話し合いに利用しています。日々ヒヤリハットをお互いに意見し、支援の検証につなげています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			年2回モニタリングを実施し計画の見直しを行っています。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	2		年間計画に総則の基本活動を盛り込み複数組み合わせ合わせた支援を行っています。	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			家族や相談支援事業所も含めた個別性のある担当者会議を行っています。	

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			ご家族を通し、情報共有を行っています。また下校時の申し送りを詳細にし、継続性のある支援をしています。担当者会議に学校の先生も交え、互換性のある支援を目指しています。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4		直接連絡体制をとることは出来ませんが、家族や相談支援事業所を通し情報交換をしています。投薬の変更などが生じた場合は適宜ご家族からの申し送りを受け、適切に対応しています。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		相談事業所を通し情報共有を行っています。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1		担当者会議やモニタリング等の記録を利用し情報共有しています。必要に応じ情報提供書の作成を行っています。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		児童発達支援センターと連携し、研修等に参加しています。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	障がいのない子ども達と一緒に活動する機会はなかなか作ることができず、課題の一つとなっています。まずは他の障害児通所施設との交流を図ることを目標にしています。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	2	酒田市自立支援協議会に参加しています。医療的ケアの療育連絡会や実技研修にも積極的に参加しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		定期的なモニタリングや毎日のお迎えの時間、連絡帳を活用し情報共有を行っています。また事業所内相談を適宜行い、不安や困りごとを共有させていただいております。
	㉘	保護者の対応力を図る視点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	2	現在は十分な支援は行われていませんが、家族会等を利用し支援できるよう検討していきます。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約締結時、内容に変更が生じた時など丁寧に説明を行っています。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			悩みについて聞き取り、必要であれば相談事業所と情報共有し早期に解決できるよう支援しています。上記にもある通り、必要に応じ事業所内相談を行い、専門的知識を持った職員が対応しております。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか		5		保護者会を開催し、保護者同士の連携が取れるよう支援をしていきます。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			事業所に苦情対応担当者をおき、苦情に対し速やかに対応しています。苦情があった場合は会議を開催し対応方法を検討します。検討内容は保護者にも周知し、再発防止に努めています。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		1	定期的に（年4回）会報を発行し情報を発信しています。月間プログラムを発行し、計画的にご利用いただけるように工夫をしています。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報が記載されている書類等は鍵付きのキャビネットに保管しています。また職員に対してコンプライアンス研修を行い、重要性を再認識しています。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			状況に合わせた情報伝達方法（手話・連絡ノート等）で意思の疎通を図っています。
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域にかかわった事業運営を図っているか		5		コロナ対策が緩和され、事業所全体での行事は再開しています。
非常時等の対応	㊁	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		事業所全体で委員会を立ち上げ、マニュアルを作成しています。
	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3		避難訓練（火災、年2回・洪水、年1回）を定期的に行っています。各委員がそれぞれ研修に参加し、新しい情報を学び事業所全体に周知しています。月間プログラムに防災訓練の練習を盛り込み、子どもたちに対しての訓練も行っています。
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	1	
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		個別支援計画に「行動制限について」として記載し、保護者に説明しています。身体拘束が必要な場合は十分な話し合いを行い保護者の同意を得る事としています。
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		1	2	保険調査票でアレルギーの有無を確認しています。
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		ヒヤリハットに定期的にまとめ、事業所内で共有しています。

